

令和6年3月18日 不採択

令和5年度末をもって閉鎖される高齢者皮革工芸講座の継続開催を求める請願について

(趣旨)

この講座は、昭和56年に講師の菊池弘美が国際婦人デー10年の歩みの愛媛県代表に選ばれ、当時の中村時雄市長との対談において、「東京都では指先を使い脳に刺激を与え活性化させ、高齢者の認知症予防になると専門医も奨励する皮革工芸講座が大人気で私もお手伝いしていました」とお話ししたら、当時の市長は、「それはいい、寝たきりになられるより、元気に皮革工芸で楽しみを見つけてもらおうと医療費が助かる、すぐやろう」と言っていた歴史ある一番人気の講座です。突然、今年度末の講座閉鎖となることに、受講生たちが嘆き悲しんでいます。孤独な老人の生きがいを奪わないで優しい福祉を求めます。ぜひ、高齢者皮革工芸講座の継続開催（復活）を請願いたします。

記

(請願事項)

松山市老人福祉センターの皮革工芸講座を、来年度以降も継続開催すること。